

令和5年度 公立小松大学入学者選抜試験
一般選抜（中期日程）試験問題

小論文

【国際文化交流学部】

国際文化交流学科

(注意事項)

- 問題用紙は指示があるまで開かないでください。
- 問題用紙は本文4ページです。答案用紙は2枚です。
- 答案用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 答えはすべて答案用紙の指定のところに、横書きで記入してください。
- アルファベット文字や数字は、1マスに1字で記入してください。
- 字数制限のある解答については、句読点を1字と数えてください。
- 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

I 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係上非公表としております

著作権の関係上非公表しております

(出典：内山節『「里」という思想』新潮社、2005年、105～107頁)

[問1] 下線部（A）に関して、筆者がこのように述べる理由を、本文における「矛盾」の内容を明らかにしたうえで、100字以内で説明しなさい。

[問2] 下線部（B）に関して、筆者がこのように述べる理由を100字以内で説明しなさい。

[問3] 下線部（C）に関して、筆者の考える経済と豊かさの関係を踏まえたうえで、今後の日本の社会を豊かにしていくためには何が必要となるのかを考えて、それを300字以内で述べなさい。

II 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係上非公表としております

著作権の関係上非公表としております

(出典：久保明教『機械カニバリズム——人間なきあとの人類学へ』講談社、2018年、21～23頁。なお、参考文献が記された本文中の脚注は除いてある)

注) ラトゥール ブルーノ・ラトゥール (1947-2022年)。フランスの哲学者・人類学者。

[問1] 下線部（A）に関して、テクノロジーをめぐる従来の発想がどのようなものかを踏まえたうえで、筆者がこのように述べる理由を200字以内で説明しなさい。

[問2] 下線部（B）に関して、筆者がこのように述べる理由を100字以内で説明しなさい。

[問3] 下線部（C）に関して、A I（人口知能）がこれから私たちとどのような関係性を築いていくのかを考えて、それを250字以内で自由に述べなさい。